

## IPO銘柄 ペプチドリーム (4587・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件（上限 PER）	主幹事証券
4587	100 株	公募：166 万株 売出：104 万株 (OA40.5 万株)	1,920 円～ 2,500 円 (192.9 倍)	みずほ証券

■ 日程

5/24 5/30 6/3 6/6 6/11

### 独自の創薬開発プラットフォームシステムを用いた特殊ペプチド創薬研究開発

#### ■ 事業内容

独自の創薬開発プラットフォームシステムであるPDPSを活用して医薬品候補物質の研究開発を行う、東大発のバイオベンチャー。特殊ペプチド医薬に特化した事業を展開する。12年10月にはじめてリード化合物の創製に成功し、研究開発フェーズに移行するなど、現時点で28個のプロジェクトを並行して進めている。おもな共同研究開発契約先はファイザー（米国）、ノバルティス（スイス）、グラクソ・スミスクライン（英国）、アストラゼネカ（英国）、第一三共などと世界的。国内外の製薬会社との研究開発を行っており、アライアンス事業の単一業態。

#### ■ 特徴

自社開発のPDPSは大規模な創薬ライブラリーとして構築できる技術、システム。特殊ペプチドを創製し、ライブラリー化して高速スクリーニングができる。製薬会社との共同研究開発契約は初期段階から売上が発生する取り決めを行っているほか、最初の契約締結時に契約一時金から売上ロイヤルティーまでのすべての計算方法を確定的に規定している。

### アナリストコメント

#### ■ 定量分析

13年6月期の非連結経常損益は1億7,500万円の黒字を予想。前期は2,100万円の赤字だった。今期は第一三共とグラクソと共同研究開発契約を締結しており、契約総数は8件。既存パートナーとの契約延長、二次共同研究契約締結なども行っており、着実に収益を計上している。

#### ■ 定性分析

新興市場は13年に入り一段と盛り上がっていたが、5月後半に入りバイオ株の人気は一段落している。ただ、仮条件の上限が目論見書記載の想定発行価格の上限（1,920円）を大きく上回る水準に設定されるなど、事前の人気は非常に高くなっている。参戦する投資家も多くなりそうだ。

#### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は77.6億円。仮条件の上限が上がったことで吸収金額が一段と大きくなっている。ベンチャーキャピタル保有株もあって需給面は芳しくないが、新興市場人気、IPO人気は高まっており、吸収は可能であるとみる。  
(小泉健太)

#### ■ 類似企業

ペプチドリーム (4587・マザーズ)

メドレックス (4586・マザーズ)

UMN ファーマ (4585・マザーズ)

予想PER192.9倍  
(仮条件上限)

予想PER —

予想PER —

#### ■ 引受証券

みずほ証券、いちよし証券、岡三証券、東海東京証券、丸三証券、SMBC フレンズ証券、エース証券、SBI 証券、マネックス証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
11年6月期(実績)	601	6.6 倍	343	黒転	176	黒転	16.7	1.5
12年6月期(実績)	269	▲55.3	-21	赤転	9	▲94.3	0.9	—
13年6月期(会社予想)	669	2.5 倍	175	黒転	136	13.6倍	13.0	—

※ 13年2月に株式分割（1株→100株）を実施。11年6月期および12年6月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
11年6月期	107,000	660	333	108	30.9	50.0	73.5
12年6月期	107,000	405	327	108	30.3	79.9	3.0

※ 11年6月期および12年6月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位（上場前）

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	窪田 規一	2,600,000	18.52
2	菅 裕明	2,200,000	15.67
3	リード・パトリック	1,750,000	12.47
4	内田 栄太郎	1,400,000	9.97
5	村上 裕	1,100,000	7.84
6	ユーテック一号投資事業有限責任組合	666,700	4.75
7	Novartis Pharma AG	526,300	3.75
8	金子 周一	500,000	3.56
8	陣内 秀昭	500,000	3.56
10	住商ファーマインターナショナル	333,300	2.37

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	窪田 規一
常務取締役(研究開発部長)	リード・パトリック
取締役(経営管理部長)	関根 喜之
取締役	菅 裕明
監査役(常勤)	笹岡 三千雄
監査役	村上 裕
監査役	田中 淳

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPOへの参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering) : 新規株式公開。

※2 ブックビルディング : 引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

## 本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar,incに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

## 手数料およびリスク等について

### 国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

### 国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

### 留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI 証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会